

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
公民・公共		1	2	帝国書院・高等学校 公共
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・第1部1章1節 青年期と社会参画 ・第1部1章2節 宗教・思想・伝統文化と社会 ・第1部2章1節 倫理的な見方・考え方 ・第1部3章1節 社会の基本原則と憲法の考え方 ・第2部1章1節 法の意義と司法参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性 ・幸福、正義、公正、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方 ・幸福、正義、公正、人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務 ・法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解することができる。 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察することができる。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解することができる。 ・公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとすることができる。 ・法や規範の意義および役割、多様な契約および消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。 	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・第2部2章1節 民主社会と政治参加 ・第2部2章2節 国際政治の動向 平和の追求 ・第2部3章1節 市場経済のしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論の形成 地方自治 ・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割 ・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表民主制の考え方にに基づき、政治的無関心について考察、判断し、政治への参加や監視についてのみずからの意見や主張を分かりやすく表現することができる。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した政治主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとすることができる。 	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・第2部3章2節 豊かな社会の実現 ・第2部3章3節 国際経済の動向と格差の是正 ・第3部持続可能な社会の実現に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり ・パリ協定目標達成のために国際社会に必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・経済のグローバル化と自由貿易協定の基本的な知識を用いて、その影響と是非に対するみずからの意見や主張を、分かりやすく表現することができる。 ・第1部、第2部の学習を振り返りながら、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動に積極的に取り組み、持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとすることができる。 	